

幡羅小学校 教科名（国語）

学力向上のための方策

1 ねらい

学力を挙げるためには、何が必要かと考えたときに、まず、学習以前の所から取り組まなければならないのではないかと考える。まず、児童に学習に臨む構え、学習規律をしっかりと身に付けさせ、分かりやすい授業を実施することで、児童一人一人の学習意欲を高め、学力を身に付け、生きて働く力に高めていかなければならない。本校では、特別支援教育における教育的支援の手法を中核に据え、児童一人一人に応じた支援に努めてきた。今年度は、目指す児童像を「たくさん読む子」「たくさん書く子」として、自ら学ぶ子の育成に取り組んできている。一人一人の児童に真の学力をつけていくために、本年度も学校研究として、取り組んでいるところである。

2 取組概要

(1) 日々の授業の充実

毎時間の授業をしっかりと行うことで、わかる授業を成立させるために、1時間の学習の流れがわかる板書の工夫、思考過程がわかるノートの取り方の指導、ICTを活用した授業の推進に取り組んで来ました。

(2) 「幡羅小スタンダード」

学習以前の規律を児童に身に付けさせるために、「幡羅小スタンダード」を作成し、取り組んできた。その内容は、大きく以下の3つ。○授業の流れを掲示…落ち着いて学習できる環境づくり。○発問4箇条…①学年・学級の児童にあった言葉で②発問は一度③発問を繰り返す場合は同じ言葉で④短い言葉ではっきり。○板書の工夫（色分けをする）…課題は黄色、キーワードまともは赤。

(3) 日々の生活の充実

学びのかまへのトレーニングとして、体力を高めるための運動を明記した「体力チャンピオンへの道」を配布し、トレーニングすることで、授業を主体的に受けようとする学びの習慣をつけさせてきた。また、「幡羅っ子体操」という本校独特の体操を、体育授業の中で行うことで、姿勢良く授業に取り組むための筋力アップを目指してきた。

コミュニケーション能力を高めるために「笑顔 声かけ ハイタッチ」の合い言葉のもとに児童へ啓発してきた。

低・高学年ごとに、机上进行整理し、学習に臨む態度を育成するなど、学習規律の育成に取り組んできた。

(4) 読書の推進

読書意欲を高めるために、本校独自のキャラクター「はたらッコ」を作成し、「読書100冊運動」に取り組んできた。

(5) 地域の教育力を生かした補充学習

退職教諭や、大学生など、地域の教育力を活用し、学期末と長期休業中に補充学習を実施してきた。

3 成果等

以上の取り組みを通して、学習に対する構えが構築されてきた。また、基礎・基本を確実に身につける児童に育ちつつある。特に、昨年と比較すると、ほとんどの項目で向上しているという結果を得ることができた。